

分野別実証試験要領改定等の状況

以下、各技術分野の実証試験要領における主な改定点（実証運営機関整理）を示す。

1. 今回運営委員会で、実証試験要領の「取りまとめ」をいただく技術分野

	技術分野	箇所	具体的な改定点
1	地球温暖化（資料 3-2）	p.10、表 4-1	昨年度の実証を通して、素材の特性は全ての場合に測定できるとは限らないことが判明したため、必要に応じて参考項目として測定するよう変更
2		p.19、b)	昼光導入装置の照明消費電力の削減効果について、平成 26 年度の実証試験を通して判明した問題点を修正
3		p.19、表 4-10	箱②に対する比較対象照明器具を追記
4		p.25、第 6 章	実証試験結果報告書作成要領の概要を反映
5		p.49	昨年度実証した、昼光導入装置に関する実証試験結果報告書概要版ひな形を追加

2. 今回運営委員会で、実証試験要領の「改定状況を報告」する技術分野

	技術分野	箇所	具体的な改定点（案）
1	建築物外皮（資料 3-3）	p.38、第 6 章	実証試験結果報告書作成要領の概要を反映
2	地中熱 HP（資料 3-4）	p.18	ヒートポンプ単独の COP、地中熱交換井の長さ 1メートル当りの熱交換量を「参考項目」として別表にして示すことに変更
3		p.41	実証試験結果報告書作成要領の概要を反映
4	自然地域トイレ（資料 3-5）	—	今年度は平成 26 年 3 月版（11 版）の実証試験要領を適用
5	有機性排水（資料 3-6）	p.22	実証試験結果報告書作成要領の概要を反映
6	湖沼等（資料 3-7）	p.18	実証試験結果報告書作成要領の概要を反映
7	閉鎖性海域（資料 3-8）	—	今年度は平成 25 年 6 月版の実証試験要領を適用
8	中小水力発電（資料 3-9）	p.8、表 2-1	連続運転に関する実証項目について、「発電出力、水位」→「入力（流量、水位）・出力（電流、電圧、出力）」に変更
9		p.20、③	開水路で流速計を用いて測定する場合、河川砂防技術基準や水文観測業務規程の定めに基づいて測定点数・配置を定めることを明記